

中央共闘ニュース

発行：国鉄闘争支援中央共闘会議
東京都港区新橋5-15-5 交通ビル4F
TEL 03-5403-1647 FAX 03-5403-1648
2007年8月28日発行 再刊第70号

8月2日～3日に国労第75回定期全国大会開催

4者4団体の信頼と団結で全面解決へ

国労は第75回定期全国大会を去る8月2日～3日、静岡県伊東市で開催し、「4者4団体」の信頼と団結を基礎に全面解決に全力をあげることを確認し、高橋委員長、田中副委員長、濱中書記長をはじめとする新執行部を選出しました。大会冒頭、佐藤前委員長は挨拶のなかで、安全・安定輸送確立に向けた取り組み、平和と民主主義を守る闘い、労働条件改善の闘い、1047名不採用問題の到達点と今後の課題について発言。「4者・4団体」の結束した力で政治解決に向けてさらに前進していくことを強調しました。

来賓挨拶では、慢性腎不全により、半年に及ぶ闘病生活を続けてきた中里議長が山口事務局長と共に挨拶に立

ち、「1月25日未明に胸部に激痛がはしり、虎ノ門病院に緊急入院した。今は皆さんの前でこのように挨拶できるまで回復した。この間、皆さんから激励の色紙や手紙をいただいたが、なかでも東京地本の執行部の皆さんがお見舞いに来た際に、デール基金へ200万円のカンパ贈呈式を行っていただいた。現在、人工透析により、週3回通院しているが、元気を取り戻すことができた。私と同じ思いで必死に闘病生活を送っている方や亡くなっ

た方の無念を晴らすためにも、国鉄闘争は絶対に勝利しなければならない。微力ではあるが一日も早く戦列に復帰できるよう全力で病気回復に頑張りたい。」と述べました。大会には来賓として、民主党の峰崎北海道議連会長、社民党の又市幹事長、共産党の仁比参議院議員のほか、国鉄共闘会議の二瓶議長や建交労の佐藤委員長をはじめ、友誼団体からそれぞれ激励と連帯の挨拶がありました。大会討論は、JR職場における労働条件改善、安全・安定輸送確立、アスベスト健康被害対策、2008年春闘、JR北海道など三島会社と貨物問題への対応や組織強化・拡大運動などについて真摯な議論が行われ、提案された運動方針は満場一致で採択されました。



「兵の形は水にかたどる」 - 高橋委員長が初心表明

「(前略) 国労運動史の3分の1を闘い続けているJR不採用事件は、組織と組合員、闘争団員と家族の艱難辛苦の20年であった。国労という組織に、組合員としておのれの人生をかけた切実な歳月でもあった。だからこそ、この2日間の大会議論の主体は、政治解決環境づくりに向けて、『4者・4団体』の信頼に裏打ちされた団結のもと、早期に解決局面をつくり出すため、今日までの少なからぬ成果と教訓を打ちたてたことを確認しあえたものとする。(中略) 今まさに国労の力量が問われている。解雇された仲間たちは、20年間という虐げられた日々、わけても最高裁判決を受けながら、あるときは地団駄を踏みながら感情の高ぶりを抑え、あるときは歯ざしりをしながらも本部に集中し、家族ともども汗し、涙し、苦境を乗り越えてきている壮烈な組合員の結集体である。自分たちの仲間を信じ合い、お互いに解決に向けて運動をつくり育ててきた国労組織である。私たちを取り巻く情勢は『厳しい』の一語に尽きる。従って、みずからを律し、みずからを奮い立たせ、名実ともに国労組織の一枚岩の団結から着実に解決の流れをつくり、そのとめどなき流れの中から解決を決定づけたいと考えている。今こそ、勇猛なる軍隊を水に例えた『兵の形は水にかたどる』という故事に学び合いたい。そのために国労組合員は知恵と力を出し合い、心をひとつにして、集中した闘いを展開したい。長年にわたり家族の忘れさせられた心底からの笑いを取り戻すために、そして『4者・4団体』をはじめとしてすべての関係者が、その戦果に肩を抱き合い、喜びを共有する瞬間をつくり出すために、ここまで築き上げてきた『4者・4団体』という仲間の信頼と団結をより強くし、一日も早い政治解決を成し遂げる決意である。」(「国鉄新聞」第2912号より抜粋)

9月行動から11・30全国集会を解決の流れへ

秋の臨時国会開会にあたり、解雇当事者で構成する4者と国労、建交労、中央共闘、国鉄共闘の「4者・4団体」は、政府にJR不採用事件の解決促進と解決交渉テーブルの設置を求め、国交省への要請行動を柱とする9月行動を取り組みます。さらにこの力を解決実現まで押し上げるために、来る11月30日(金)18時から東京・日比谷野外音楽堂にて、「4者・4団体」の主催により、「20年目の節目 総力をあげた闘いで解決を『JR採用差別』全面解決を迫る11・30全国集会」を開催します。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

9月行動への参加要請

期間：9/18～21の4日間 連日とも10時30分～17時

	午前(10時30分～13時)	午後(13時～終了)
9/18(火)	都労連・全水道・東京地評・太田区職労・目黒区職労・全労協	出版労連・都庁職労働局支部・都庁職衛生局支部・横浜市従・映演共闘
9/19(水)	JMIU・国公労連・全損保・平和と地域全国連絡会・全港湾	東京清掃労組・建交労・東京健康文化医療労組・女のネット・千代田区労協
9/20(木)	新聞労連・民放労連・日本医労連・生協労連・全日建運輸連帯労組	松尾橋梁労組・千葉高教組・那須電機労組・石油労組連絡会・東葛の会
9/21(金)	全印総連・労働者協同組合・全農協労連・首都圏の会・電検労	連帯する会・建設関連・郵産労・日赤労組・全国一般東京労組

国交省正門前での行動を基本とします。上記割当を基本に各加盟団体の最大限のご協力を願います。